

## 令和6年度 広島市まちづくり市民交流プラザ 第1回運営委員会 会議録

日 時 令和6年6月6日(木) 10時00分～11時30分

場 所 合人社ウェンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

北棟6階 マルチメディアスタジオ

出席者 (委員) 阿部委員、木谷委員、服部委員、藤原委員、脇谷委員、

(プラザ) 森原館長、石山主任、角田主事

### 開会

館長あいさつ

運営委員自己紹介

プラザ職員あいさつ

### 議事及び会議要旨

#### 議事1 役員の選出について

運営委員の互選により選任しました。

運営委員長 脇谷委員

副委員長 阿部委員

#### 議事2 令和5年度事業等報告について

事務局から、令和5年度事業実績について報告し、意見が交わされました。

(・事務局 ○運営委員 以下の議事も同様)

(パワーポイントを使用して主な事業について報告を行いました。)

・令和5年度第3回運営委員会(令和6年2月29日)に報告したものと重複しますが、令和6年度より委員に就任された方もいますので、改めて事業報告をさせていただきます。

・企業・団体等との連携講座「お墓のものしり講座」(NPO 全国葬送支援協議会広島支部株式会社玉屋共催)、「ひろしまを知る語る歩くボランティアガイド養成講座」(観光アシスタントひろしま共催)「血めぐり改善と睡眠習慣」(花王グループカスタマーマーケティング株式会社共催)、広島市文化財団の施設との共催事業 生涯学習支援講座(「まんがイラスト講座」等)を実施しました。

・地域活動活性化支援プログラムの研究は公民館や社会教育施設と連携し実施していきます。地域団体や市民活動団体の活動強化のためのプログラムを公民館2館で実施しました。

・企業等社会貢献活動推進事業協働セミナーでは「SDGs カードゲーム」を実施し、19名の参加がありました。

・まちづくりボランティア人材バンクの運営は、毎年1回5月に実施する交流会を開催しています。

この度の交流会で、活性化委員の新規加入が6名あり、計25名の活性化委員で6月より月1回実施する活性化委員会を運営していくことになりました。令和6年度実施予定の「高齢者作品展協賛事業」「まちづくり市民交流フェスタ」運営に協力いただきます。

- ・相談・コーディネート事業は講演会と個別相談を実施しています。講演会は、毎月テーマに沿った相談員による講演です。参加者は高齢の方が多く、長年継続して参加している方が多い講座です。令和6年7月に通算200回記念事業を実施します。

- ・まちづくり活動支援基金推進事業の運営支援は、ひと・まちネットワーク部管理課と協働で実施しており、前年度実施した成果発表会、応募団体の公開審査会の内容となります。

- ・市民活動人材育成講座は、市民活動に関わっている（これから関わる方含む）方を対象に、講義と実践を行いながら内容を進めていきました。「コーチング」のスキル等を高める学習をしました。

- ・市民活動団体運営支援講座は、団体活動を実践している方を対象とした講座で、令和5年度は企画を共有するための手法について等を学ぶ講座を実施しました。

- ・地域的・社会的課題解決プロジェクトは、市民生活に根ざした課題解決として資産運用の考え方とマネープランの講座を実施しました。

- ・まちかど賑わいづくり事業では、屋外の花の植え替え等を行っています。5月にはNPO法人セトラひろしまソーシャルガーデナー倶楽部のみなさんに教わりながら、袋町小学校2年生と花の植え替えを行いました。

- ・生涯学習成果発表事業は、学習グループの活動成果を発表する機会を提供する事業で、「ガンバルーン」を実践しているグループが参加し、活動の成果を発表し交流を深めました。

- ・まちかどコンサートは、3年ぶりに南棟1階ロビーで実施することができました。

- ・利用状況は令和4年度と令和5年度の比較したところ、主催事業は実績が伸びていますが団体グループ利用は減少しています。総利用者数は、約20,000人増えています。

○企業等社会貢献活動推進事業について、長年、カレンダー収集を実施していることについて地味だけど役に立っている内容です。カレンダーがどのくらい需要があるのか疑問があります。大手企業を中心としたマスコミ、銀行等のサービス業が多い中で食品を扱う業種が入ってもよいのではないかと、貢献する内容について、カレンダーだけでなく他の内容も検討してはどうかと思います。相手側のノウハウや特質が多様化した方がよいことと、新しくメンバーに加入してもらい働きかけをした方がよいと思います。

○企業等社会貢献活動推進事業について、メンバーを増やそうとしているのか、メンバーを増やそうとしているのであれば仕掛けが必要ではないか。意思決定等はどのようになっているのでしょうか。

- ・プラザは事務局で、企業の活動報告を行っていただきました。6月5日は9社1団体が参加、うち2社はリモート参加です。リモート参加団体も含め活動報告後質問等があればと尋ねたが、あまり活発な意見交換はありませんでした。

- ・企業はしっかり社会貢献をされています。マスコミの業種等のメンバーがいることから、社会貢

献活動を広くアピールできると考えるので、新たに取り組めることを検討していきたいです。

○社貢研のメンバーでもある広島市社会福祉協議会（以下社協）として社貢研に参加した服部委員は、社協から提案しないとまとまらない状況である。全国的に社会貢献したいと申し出がある企業（食品メーカー）もあるので、プラザとしても今後巻き込んでいただくことを検討してほしいです。

○企業等社会貢献活動推進事業とは異なりますが、企業が町内会と何かをしたいと申し出があることがあります。企業側にどのようなメリットがあるのか、町内会に期待していることを明確にしてほしいです。（コーディネーターが必要です。）

### **議事3 令和5年度モニタリングアンケートの結果について**

**事務局から、令和5年度に広島市が実施した「利用者アンケート」の結果について報告し、意見が交わされました。**

・まちかどコンサートを、南棟1階ロビーで実施したことが評価されました。

○是正すべき事項はどのようなことがあるのでしょうか。

・プラザが開館から22年経過していることから、施設修繕についてあがったことがあります。施設修繕については、市民活動推進課が優先的に検討してほしい事項などをあげています。

### **議事4 令和6年度事業計画について**

**事務局から、令和6年度事業計画について説明し、意見が交わされました。**

・託児サービスの提供について、運営委員会の意見をいただき、令和5年度は2講座で実施しました。令和6年度も既にパソコン学習支援事業の実施が行われており、プラザの講座に参加する方が必要とされる託児サービスの提供を行っていきます。

・はじめての市民活動・ボランティア体験講座では、視覚障害者だけでなく聴覚障害者の方が日常生活で困っていることを知っていただく機会をつくり、必要なサポートができる内容を検討しています。

・まちかどコンサートは、ロビーのにぎわいづくり事業です。気軽にロビーで開催している催し物に参加できるよう、申込みなしで参加出来る内容となっていますので、運営委員のみなさまも是非ご参加ください。

（脇谷運営委員長より）

○運営委員のみなさん、ひとことずつお願いします。

・木谷委員：フェスタでのアイマスク体験から実体験が理解することにつながるということが分かりました。今年のフェスタも、民生委員へしっかり周知して一人でも多く参加できるように働きかけていきます。

・藤原委員：運営委員として、初めての参加です。今年はフェスタにも参加させていただきたいです。

・服部委員：街中にあることは集客が期待できます。市社協も街中に移転してからボランティア

希望の方から空きがない等の声を聞きます。託児サービスは、社協より声かけをして調整をしながら提供しています。身近な方に託児に関わっていただきたいことから、託児ボランティア募集案内を情報提供しています。

・阿部委員：コミュニケーションをとって事業実施をするように心がけてほしい。話し合いをしながら事業を考えていく事が大切です。

・脇谷委員：プラザ主催事業の何が減っているのかを追求することで、コロナ前に戻るきっかけをつくる。令和元年度主催事業は60,000人となっているところからみると、コロナ禍前の約6割の参加であることから、主催事業の参加を増やす要因を追求してほしいです。

・主催事業の参加者数が回復してきていると話しましたが、参加者数を増やす要因はあるので、様々な角度から集客を高める方法を検討していきたいです。

○「何を学びたいのか」等、参加者の声に着目しマーケティングしながら事業計画および実施をしていただくとよいです。

○町内会の会員が少ないです。ユニークな活動をしている町内会があるので町内会で行っていることを共有する場があればと思います。プラザ事業に盛り込んでほしいです。

○PTA 会員加入が選択制になったことで、これまで実施していた地域活動ができなくなる不安があります。

○区の地域起こし推進課主催が実施した「お助け情報交換会」があったので、区単位ではなく市全体で実施すると、それぞれ困っていることの解決につながると思います。

## 議事5 まちづくり市民交流フェスタ2024について

### 事務局から、まちづくり市民交流フェスタ2024について説明し、意見が交わされました。

・フェスタ開催目的を説明しました。令和5年度は、32団体参加がありました。日時、内容は資料に沿って説明を行いました。活動拠点が無い団体が参加可能であること、一方で地域拠点の団体では無いため団体間のつながりを築くことが難しい点が挙げられます。

・コロナ禍で食品の扱いが厳しくなっていること等から、バザーは公募せず、事務局から市民活動団体へ参加依頼を行います。

・参加団体募集時期を1か月前倒して実施しています。実行委員会の開催および広報チラシ発行時期を考慮したことから募集時期を改めました。

・参加団体の交流を深めることが目的に含まれていることから、実行委員会を2回実施します。

・部会等は全体会終了後に実施します。

○フェスタは、出会いの場・元気をもらえる場です。

○参加者数が多ければよいわけではない。参加者の知恵を出し合っていくことが大切です。

「つどい 学び 楽しむ」10年以上、フェスタのテーマを掲げています。

文字だけではなく、イラスト等を交えて固い表情ではなく参加しやすいイベントを作りあげて

ほしいです。

○広報チラシを作成する場合は、「フェスタへ行ってみようかな」と思えるチラシを作成してほしいです。

・令和6年度フェスタ実行委員長を選出を本日お願いします。（※議長に進行により選出）

○フェスタに熱い思いを抱いている阿部委員にフェスタ実行委員長をお願いします。（拍手）

・広報チラシのデザインについては、実行委員会等で提案していきたいと思います。

○実行委員会の進め方や広報チラシの素案についても相談して欲しいし、新しいアイデア等気づきを伝えていきたいです。柔軟な発想に期待をしています。

○フェスタ参加募集時期を1カ月前倒しにしたことについて、大学の夏休み前に参加募集を行う等、募集時期を改めて参加しやすい時期に変更したことは、フェスタ参加者に寄り添っている点だと思いました。

**【実行委員長は互選により決定】**

実行委員長 阿部委員

**【第2回運営委員会】**

フェスタ終了後の予定（11月下旬）

**閉会**